

桜川

第23号



市議会だより

平成23年5月15日

このたびの東日本大震災により、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

桜川市議会議員一同

～四季の風景シリーズ No.10～

雨引山(本木地区)



雨引山中腹から撮影

議会目録

- 1月 27日 文教厚生常任委員会
- 2月 15日 議会全員協議会
25日 議会運営委員会
25日 議会全員協議会
- 3月 3日～17日 第1回定例会
7日 議会広報特別委員会
28日 議会運営委員会
28日 議会全員協議会
28日 第2回臨時会
- 4月 14日 議会全員協議会
19日 文教厚生常任委員会
26日 議会広報特別委員会
- 5月 6日 議会広報特別委員会
9日 文教厚生常任委員会視察研修会(小美玉市)

東日本大震災の被災地への支援として、桜川市議会より日本赤十字社茨城県支部へ、義援金 30 万円を贈りました。

桜川市議会議員一同

編集後記

日々の仕事に追われる中、季節は春から初夏になってまいりました。

東日本大震災は桜川市においても停電、断水、建物、道路等の損傷など、大きな被害をもたらしました。また物資の不足などにより経済も大きく停滞しました。

日ごろから防災について考えていたつもりでも、実際の災害には適切な対応ができなかった方も多いと思います。

原発の風評被害についてもこれから厳しくなっていくと思われまので、生産者の皆様と協力して対策を進めていかなければと思います。

亡くなった方、被災されて今も避難されている方々にお見舞いを申し上げますとともに、今回の貴重な経験をこれからの防災体制づくりに生かしていきたいと思っております。



仁平 実

議会広報特別委員会

- 議長 相田 一良
- 委員長 川那子秀雄 副委員長 菊池 伸浩
- 委員 飯島 重男 委員 仁平 実
- 委員 鈴木 裕一 委員 萩原 剛志

私のメッセージ

東日本大震災で感じたこと



谷島秀夫さん
桜川市真壁町塙世

日々テレビで震災の様子が放送され、被害の凄まじさや、避難された方々の様子を見ると、心が痛みます。安全のためにつくられた防波堤や、本来避難するべき避難所が津波によって破壊され、自然の力は人間が想像する以上であることを思い知らされます。災害は防災システムが破壊された先にあることが分かります。

しかしそのような中でも、地域の人が助け合いながら生活を立ち上げていく姿に、力強さを感じました。行政の援助が届く前に助け合える組織づくりと近所で声をかけ合える環境づくりが重要ではないでしょうか。今は夫婦共稼ぎの家も多くなり、近所の方と顔を合わせる機会も減っています。このような中で地域のつながり、連携が大切だと感じます。私の周りでも地下水のある家は困っている近所の方に水を分けたり、声をかけたりにしていました。また停電の夜は、地域のスポーツクラブ

の仲間から届いた励ましのメールに心強さを感じました。市でも公共施設等の耐震工事など各所で行っていますが、それと同時に、地域でのコミュニケーションの充実も必要かと考えます。スポーツや奉仕活動など幅広い年齢で積極的に参加できる場づくり、人が支え合って災害を乗り越える環境づくりを市政の中に組み入れていただければと考えております。

このたびの災害で被災された方々の早期の復興をお祈りいたします。

『私のメッセージ』の投稿をお待ちしています

応募方法：封書・FAXまたはメールで600字以内
(氏名・住所・電話番号を記入)
応募のあて先・お問い合わせは市議会事務局まで
TEL 0296-75-3111 FAX 0296-75-6633
〒309-1292 桜川市岩瀬64番地2
E-mail gikai_s@city.sakuragawa.lg.jp